

「博士課程教育リーディングプログラム」中間評価結果

機 関 名	広島大学	整理番号	S03
プログラム名称	たおやかで平和な共生社会創生プログラム		
プログラム責任者	宮谷 真人	プログラム コーディネーター	岡橋 秀典

◇博士課程教育リーディングプログラム委員会における評価（公表用）

[総括評価]

計画どおりの取組であり、現行の努力を継続することによって本事業の目的を達成することが期待できる。

[コメント]

リーダーを養成する学位プログラムの確立については、「オンキャンパス教育」と「オンサイト教育」を両立させながら、グローバルリーダーの養成が図られ、特に国内外の条件不利地域（日本の中国地域、インド、ネパールなど）におけるオンサイト教育に力点を置いて、「リバースイノベーション（地域発イノベーション）」を実現し得る3つの分野（文化創生、技術創生、社会実装）でのイノベーター育成が実施されており、グローバルリーダー養成のための学位プログラムの効果的な整備が図られている点は高く評価できる。

産学官民参画による修了者のグローバルリーダーとしての成長及び活躍の実現性については、本プログラムでは条件不利地域におけるオンサイト教育に力点が置かれており、それぞれの地域社会が抱える課題の解決の在り方を現地調査する中で、地域住民や自治体、地域企業との協働が行われており、リーダー養成で効果をあげている点は評価できる。

グローバルに活躍するリーダーを養成する指導体制の整備については、多数のアカデミックメンターとプロフェSSIONALメンターが配置されており、指導体制の充実化が図られている点は高く評価できる。また、インドやバングラデシュ、米国等の卓越した大学や研究機関との連携・交流で実績をあげている点も評価できる。

優秀な学生の獲得については、本プログラムでは、全受講生47名のうち、37名が外国人留学生（14カ国）であり、グローバルな学修環境が創出されており、優秀な学生がオンサイト教育等を通して互いに切磋琢磨している点は高く評価できる。ただし、日本人学生の数が少ないので、今後は優秀な日本人学生の獲得に尽力する必要がある。

世界に通用する確かな学位の質保証システムについては、2年次に博士論文研究基礎力審査を行い、次いで4年次に博士候補者試験が実施され、最後の5年次に博士論文審査（学術誌への論文掲載、国際学会での発表、英語の博士論文）という3段階の学位審査プロセスが行われた後に、学生が所属する各研究科の学位審査基準に基づいて博士学位授与が行われている点は高く評価できる。

事業の定着・発展については、広島大学では現在、本プログラムを含む2つの博士課程教育リーディングプログラムを中心にして、高度専門人材を育成するための人文社会系研究科の再編を行い、新しい研究科を設置して研究科横断・文理融合型教育プログラムの実施が検討されており、本プログラムの成果が全学的改革に貢献することが大いに期待される。